

— 2 0 1 3 —

平成 2 5 年度事業報告

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

平成 2 6 年 6 月 2 1 日

公 益 社 団 法 人

国民文化研究会

事務所 〒150-0011 東京都渋谷区東1-13-1-402 TEL 03-5468-6230 FAX 03-5468-1470
--

平成25年度事業報告

公益社団法人 国民文化研究会

はじめに

本会主催の「全国学生青年合宿教室」は、昭和31年8月、鹿児島県・霧島で第1回を開催して以降、基幹事業として毎年欠かさずに開催して、昨年58回目を迎えました。昨夏の合宿教室は「歴史に日本の再生を学ぼう！」との合い言葉のもと、豊かな自然に囲まれた神奈川県厚木市「七沢自然ふれあいセンター」において、大学生・社会人及び関係者142名の参加者が集い、内外部の講師による講義・古典輪読・班別研修等によって、学問・人生・祖国のあり方を心ゆくまで語り合う真剣な研鑽が行われました。

合宿後には、会員有志によって編集された『参加者感想文集』及び合宿レポート『日本への回帰』第49集が刊行され、合宿での研鑽の様子を会員、賛助者をはじめ多くの方々にお伝えしました。また合宿参加者は合宿で出会った班員との交流を開始し、友情を深めることが出来ました。また、関東、関西、九州等の各地の学生及び社会人を交えて学内、民間施設、又は会員の自宅における常設の研修活動（輪読会、読書会、「短歌の会」、テーマ毎の研究会等）も自ずから活発化することとなりました。これらの活動は、その会に参加する方々が、お互いに切磋琢磨し学問する場であると同時に、不特定多数の方々を対象に伝統文化の普及や思想啓蒙のための講演会・懇話会の開催といった活動に繋がってきています。

一方、内政・外交・教育の各方面では益々問題が錯綜していますが、私ども会員一同は、心を新たにして、本会の目的である「日本の長い歴史の中に蓄積された祖先の足跡を学び、国民各層への伝統文化の普及に努めるとともに、国内外で活躍する有為な青年の健全な育成を推進し、もって学術・文化の振興並びに豊かな人間性の涵養に寄与する」ことに向かって、地道に邁進しておりますことをご報告いたします。

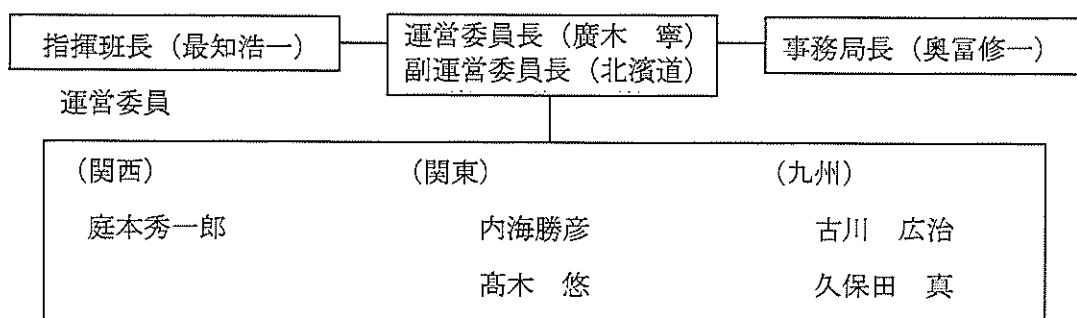
以下、当該年度の年間事業をご報告申し上げます。

I. 研修事業（公益目的事業）

1. 年次研修会としての「合宿教室」の開催

① 第58回「全国学生青年合宿教室（厚木）」の開催

平成25年8月22日(木)から25日(日)までの3泊4日間、神奈川県厚木市「七沢自然ふれあいセンター」で開催いたしました第58回「全国学生青年合宿教室」は、日本政策研究センター代表 伊藤哲夫先生のご講義を中心に、本会会員による諸講義を加え、142名の参加者を得ての各種行事を滞りなく遂行し、実り多い成果を上げることが出来ました。以下に、本年度における合宿運営委員を記して、そのご苦勞に深謝します。



②第58回合宿教室『参加者感想文集』の刊行

上記の「合宿教室」に参加した学生・青年が、終了間際に記した感想文をまとめた『参加者感想文集』を例年通り刊行いたしました。会員の北濱道氏を中心に、伊藤俊介・高木雅史・武田有朋・濱崎史嘉・佐野宜志の各氏の協力のもとに、A5版88ページにまとめ、カメラマン中澤武之氏の撮影によるスナップ写真を挿入して短期間で仕上げることができ、平成25年12月20日に1、350部を刊行しました。合宿参加者と正会員、賛助会員へは早速送付し、賛助者はじめ江湖の方々には、『日本への回帰―第49集』（平成26年2月28日発行）と共にお送り申し上げました。各方面からお褒めのお言葉をいただき、本書が本会活動の内容を世間にお知らせするのに、またとない資料となっていることを改めて確認した次第であります。

③第58回合宿教室レポート『日本への回帰—第49集』の刊行

前記の第58回合宿教室のレポートである『日本への回帰—第49集』は、会員の高橋俊太郎氏の現地録音作業によるテープを基にして、東京地区在住の山内健生・磯貝保博両氏を中心とする同人たちの協力で、新書版314ページにまとめられ、平成26年2月28日に1,500部を刊行し、合宿参加者全員にも発送致しました。

(平成26年度もまた『日本への回帰—第49集』の頒布について、絶大なご協力を頂きたく存じます。(頒価は900円、送料は1冊210円です))

④第59回合宿教室の開催準備

第59回目を迎える「合宿教室」は、兵庫県南あわじ市の「国立淡路青少年交流の家」で平成26年9月5日(金)から8日(月)までの3泊4日で開催されます。すでに合宿運営委員長の株式会社寺子屋モデル講師頭・廣木寧氏と北濱道副運営委員長以下7名の運営委員を中心に活発な準備作業を進めました。

2. 常設研修会としての全国各地での活動

「合宿教室」の開催を軸とする、全国各大学での学生達による学風刷新と同信の友との研鑽活動は、各地在住の本会若手会員(社会人)の助言、指導もあって、引続き充実した歩みが見られました。各地区の学生と社会人を交えての輪読会・読書会・「短歌の会」・古典研究会が全国的に展開されました。

① 常設研修会

《北陸地区》

富山在住の会員岸本弘氏が主宰する輪読会が継続して開催されました。一昨年は古事記編纂1300年になったこともあって同氏の編集になる『朗読のための古訓古事記』をテキストにしています。

・かたかごの会(世話人岸本弘氏)(富山県民会館)・黒上正一郎先生著『聖徳太

子の信仰思想と日本文化創業』および『朗読のための古訓古事記』の輪読

- ・「古事記」を読む会（世話人岸本弘氏）（小矢部市文化スポーツセンター）・・・『朗読のための古訓古事記』の輪読

《関東地区》

関東地区では多くの研修会が継続開催され、渋谷の東京事務所のセミナー室で主として開かれました。（会名の後の括弧内は主宰者）

- ・青雲会（高木悠君）・・・『朗読のための古訓古事記』、『古事記のいのち』（夜久正雄著）の輪読
- ・短歌の会（会員佐野宜志氏）・・・社会人と学生による短歌創作相互批評の会
- ・四土会（会員内海勝彦氏）・・・『聖徳太子の信仰思想と日本文化創業』（黒上正一郎著）の輪読
- ・聖徳太子研究会（会員山内健生氏）・・・四天王寺本『法華義疏』の講読
- ・国文研塾（会員北濱道氏）・・・吉田松陰の遺文の輪読
- ・柴田会（会員柴田悌輔氏）・・・『本居宣長』（小林秀雄著）の輪読
- ・調つきの会（会員岸野克巳氏）・・・『古事記傳』（本居宣長著）の輪読
- ・北鎌倉の会（会員関口靖枝氏）・・・『名歌でたどる日本の心』及び『本居宣長』（小林秀雄著）の輪読
- ・日本の国柄と皇室に関する研究会（会員大岡弘氏）・・・研究発表と輪読
- ・小林秀雄『本居宣長』読書会（会員北濱道氏）・・・当該テキストの國武忠彦氏による講読
- ・東大輪読会（東大生高木悠君）・・・「先人の生き方を学ぶ会」に改称。小林秀雄氏の著書の輪読
- ・興風会（会員伊藤俊介氏）・・・『昭和史に刻む我らが道統』の輪読
- ・神奈川県教育問題研究会（会員國武忠彦氏）・・・教育に関する実践活動の報告

《関西地区》

大阪では会員の庭本秀一郎氏、久米秀俊氏を中心とした輪読会（京都市及び西

宮市にて本会の先学桑原暁一の著書『国史の地熱』、吉田松陰『講孟箭記』を読む会及び短歌の会）が継続開催されました。

《福岡地区》

福岡地区の活動は「(株)寺子屋モデル」を中心に行われ、時に「NPO法人教育オンブズマン」とも連携し、読書会・輪読会の開催情報の提供、合宿教室の案内と勧誘、及び広報について互いに協力しつつ活動が進められました。

- ・福岡国民文化懇話会(会員中島繁樹氏)・・・福岡地区の会員による講義形式の勉強会
- ・福大寺子屋塾・・・福大生10数名による毎週の輪読会。(株式会社寺子屋モデルの講師頭の廣木寧氏が指導に当たる。(福岡大学教授阿比留正弘氏の多大なる協力による) 輪読のテキストは、小林秀雄『美を求める心』および平泉澄『物語日本史』
- ・九大會(会員廣木寧氏)・・・九大伊都キャンパス近くの廣木氏の自宅にて毎週、九大生とともに小林秀雄氏の著書『考へるヒント』、吉田松陰『留魂録』を輪読。
- ・新山會(会員古川広治)・・・小田村寅二郎先生の著書『『聖徳太子の信仰思想と日本文化創業』の輪読導入講義』の輪読。

《熊本地区》

会員久保田真氏の指導で学生の輪読会「熊大^{しょうゆう}松熊会」が継続して実施された。またOBによる輪読会も月一回(三土会)開かれ、『聖徳太子の信仰思想と日本文化創業』の通読が続けられました。そのほか社会人の勉強会として毎月一回、岸本弘編『朗読のための古訓古事記』のを輪読が続けられました。

② 各地区における講演会の開催

《関西地区》

- ・講師 庭本秀一郎「武士道について」(平成25年6月30日)

場所 京都大学総合人間学部 教室

《北陸地区》

・講師 岸本 弘 「神話と日本の心」(平成25年5月12日)

場所 富山県小矢部市文化スポーツセンター

《福岡地区》(福大寺子屋塾主催)

・講師 廣木 寧「松尾芭蕉—その風雅の道」(平成25年6月25日)

場所 福岡大学

II その他の事業

1. 会報の発行

会報(月刊『国民同胞』)は、会員の研鑽の成果を世に問うという伝統を踏襲しつつ、また新しい企画も加えながら2,200部を継続刊行し、期末で第629号目の発行となっております。(年極めの購読料は送料共2,000円) なお50号毎の合本も第12巻までを頒布しております。(各巻とも頒価2400円、送料450円。申込先は国文研東京事務所、但し、1～5巻は品切れ)

2. 講演会の開催

第16期(第25回)を迎えた「国民文化講座」は、平成25年5月18日(土)、靖國神社「靖國會館」に、拓殖大学国際学部教授呉善花先生をお迎えして開催されました。演題は「日本の受身力—言語から見る日・韓—」で、約200名が聴講しました。

3. 顕彰事業

本会恒例の慰霊祭は、平成25年9月23日(祭日)午後3時から飯田橋の「東京大神宮」において厳粛に執り行われました。ご遺族を含め44名の方にお集まりいただき、全国から献詠歌が多数寄せられました。

4. 短歌通信の発行

本会の会員を中心とした短歌創作の実習の場として、あるいは会員相互の近況連絡の場として、全国各地から寄せられた短歌が随時「短歌通信」として澤部寿孫副理事長の編集によって継続発行がなされました。

Ⅲ. 管理部門

1. 「税額控除対象法人」として認定される

本会は平成25年5月にパブリックサポートテスト（PST）の要件を満たし「税額控除対象法人」の証明を受けました。これによって本会への寄付金は一定の条件のもとに税制上の優遇措置、主として所得税、法人税の税額控除が受けられることになりました。この優遇措置は公益法人等に対する我が国の寄付文化を推進する目的で法制化されたものです。

2. 情報発信の基盤強化

本会のホームページ上に本会の事業活動の紹介はもとより、基幹事業である「学生青年合宿教室」及び本会主催の「国民文化講座」をはじめ各種講演会や諸行事及び各地での読書会、輪読会等の案内を掲示し紹介し、「合宿教室」の参加勧誘及び会員相互の研鑽情報の提供に成果を挙げています。またインターネットのメールによる会員相互間の連絡、意見交換が引き続き活発化しております。最近ではホームページを通じての学生の「合宿教室」参加申込みも顕著になって参りました。

平成26年1月にはFacebookに本会のホームページを開設いたしました。会員島津正数氏を管理者として、活発な情報発信をはじめしております。多数の方々に本会の活動を理解してもらうためにも有効な手立てであると考えております。